

いつまでもいきいきと

— 9月は敬老月間です —



9月は敬老月間です。長年にわたり、家庭のため、また地域や社会のために尽くしてこられた高齢者の方を敬愛し、その長寿をお祝いしましょう。敬老月間中、町内においても、地域や団体などによる行事や事業が催されます。また、さまざまな社会活動に意欲的に取り組んでおられる高齢者の方もたくさんおられます。今回は、これらの取り組みの一部と、いきいきと活動されている方を紹介します。

敬老会

各地区において、敬老会実行委員さんのご協力のもと、敬老の趣旨にふさわしく、趣向を凝らした催しが行われます。



▲昨年の日野地区敬老会

敬老訪問

長寿のお祝いとして、90歳と95歳以上の方のお宅を町と社会福祉協議会が訪問し、お祝いの品をお届けしています。

老人クラブ

各々の単位老人クラブにおける地域社会活動として、年間を通し、健康・友愛・奉仕活動などを実施されています。

また、老人クラブ連合会の活動では、9月20日に社会奉仕活動を実施されるほか、豊富な知識と経験を深めるための「シルバー大学」などの事業も開催されています。



▲老人クラブによる「日野町立介護老人保健施設リスタ あすなる」での清掃活動

ゲートボールでいきいきと



もちだえいぞう
持田 榮造さん
(77歳) 野出

60歳からゲートボールを始めて18年になります。学生のころからスポーツが好きで、野球と卓球をしていました。ほかに、駅伝大会に出場したり、女子バレーボール部の監督をしたりもしていました。

今は、滋賀県ゲートボール連盟日野支部の理事長として、1か月に1回程度ある試合に、選手として、また審判員として出場しています。かつて、県代表として長崎

で開催された国体へ出場した経験もあります。また、姉妹都市ブラジル・エンブ市使節団と交流試合をしたこともあります。

当連盟は、現在会員245名。年齢50歳代から90歳代までが活動しています。会員数は減少傾向にあり、新たな会員を募集しています。

ゲートボールは個人ではなく団体競技です。チーム5人が一体にならないといけません。そのためには、プレーの間の休憩時に、楽しい会話をして仲良くすることが大切です。例えば、季節の野菜づくりを失敗した人に、誰かが作り方のアドバイスをするなど、試合以外の話題で和やかに過ごします。試合で、玉を打つ角度や作戦を考えるのは難しいけれど、ねらい通りに玉が当たったときは楽しいです。面白いので、あなたも一度やってみませんか。

誰もが、いつまでもいきいきと暮らしていくために、私たちに何ができるのか、この敬老月間を機に、今一度、考えてみましょう。

◆問い合わせ先

介護支援課 介護支援担当
☎ 6501 有線 7788

※「敬老の日」は、長年にわたり社会に尽くしてこられた方々を敬愛し、長寿をお祝いするという趣旨から、国民の祝日に定められています。祝日法改正により、敬老の日は平成15年から9月の第3月曜となり、今年は17日に当たります。また、老人福祉法の改正により、9月15日は「老人の日」と定められています。この日は、高齢者の福祉について、みんなで考える日となっています。